

専門医に聞く アレルギーとその検査

アレルギーという言葉は日常のさまざまな場面で“〇〇アレルギー”などで行き過ぎの困った事柄に使われます。医学の分野では本来、合目的な免疫反応が過剰になって引き起こす病態を主に指します。本特集では、まず総論でそのあたりから広くアレルギーを俯瞰していただきます。引き続き、アレルギー性疾患を診療されている各専門領域のエキスパートにそれぞれの立場からの解説をいただきます。どの診療分野でもアレルギー性疾患は扱われますが、今回は代表的な分野である耳鼻咽喉科・小児科・皮膚科の専門医にお願いしました。また、救急疾患であるアナフィラキシーも取り上げました。臨床検査ではアレルゲンの検査がアレルギーの診療に寄与していますが、それは全体の情報の1つにすぎないことがわかります。それぞれの専門医がどのようにアレルギー性疾患に向き合っているかを学んでいただけたら幸いです。

山田俊幸(自治医科大学臨床検査医学)